

「ローカルフードサイクリング美和台」で 目指す持続可能な共助社会

活動地域  福岡県福岡市



コミュニティコンポストに取り組む様子

課題

対象地区は高齢化が進みコミュニケーションが希薄化。コンポスト継続も困難な方が増え、これまで循環していた住民の生ごみがふたたび廃棄物となり焼却場へ行っている。

目標

食の資源循環(コミュニティコンポストを軸とした栄養循環のしくみ:LFC)が地域で定着し、地域住民の共助のしくみで実行される。



今後の
展望

新型コロナウイルス禍を経て地域の見守りメニューの多様化が重要視されている。コンポストのニーズや地域内での普及は広まってきているので、住民・地域・NPOが無理なく共助のしくみで継続運営できる仕組みとしていく。

ひろげる助成

1年目

実践

活動内容と成果

住民自主活動によって環境と福祉・健康の同時解決をしながら、持続可能な共助社会を目指し地域自治組織とNPO、行政が協働で生ごみ・落ち葉などの身近な有機資源を堆肥にすることで食につながる循環システム(Local Food Cycling:LFC)を実施している。

コミュニティコンポストでは住民が自宅でダンボールコンポストに取り組み、スタッフが巡回してお手入れすることで継続をサポートした。また、同時に高齢者の見守りも行った。できた堆肥を活用する畑も新たに確保し、野菜を地域に出荷して栄養を循環させた。



公民館で実施したプランター講座の様子

会員世帯(3月31日時点) **51軒**

コンポスト設置 **24軒**

今年度計画の達成度 **100%**

目標達成度 **48%**

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

新型コロナウイルスの影響で地域イベントや活動が中止され、思うように会員獲得ができなかった。また海外視察も断念せざるを得なかった。

■工夫した点

チラシ配布や少人数講座を企画し新規会員獲得を試みた。また、今年直面した課題解決のため、国内情報収集・視察に切り替えた。

〒811-0201
福岡県福岡市東区三苫4-4-27
電話：092-405-5217
E-mail：info@jun-namaken.com
HP：https://www.jun-namaken.com

